

国立大学附属中学校保健体育科における研究の変遷

(その3)

向山 貴仁\*

**A Historical Study of Physical Education Research Project conducted by  
the Junior High Schools Attached to National Universities in Japan  
(3)**

Takahito MUKOYAMA\*

**Abstract**

Numerous research projects have been conducted and completed by the teachers in the junior high schools attached to national universities in Japan since their inauguration. The results obtained through these projects were accumulated in the research reports and or bulletins published by the schools.

The purpose of this study was to investigate and analyze the materials collected by the Research Institute on Educational Process and Course of Study of Attached Junior High Schools of Tsukuba University where a little less than 40% of the research reports published by the 78 attached junior high schools all over Japan are stored.

The methods of research were as follows:

1. General analysis.
2. Classification according to activity type.
3. Classification by grade and sex.
4. Classification according to the type of method for the research.

Upon investigation and analysis of the materials, the following results were obtained:

1. With the years the research topics have been expanded among numerous aspects of teaching physical education.

2. A significant shift as to the focus of the studies was found in the materials published after the middle 1970s. This shift was characterized with the change from teacher centered instruction to student centered learning.

3. This trend was caused by the transformation in socio-economic and educational circumstances as well as the impact of the revised edition of the Course of Study published by the Ministry of Education, Science and Technology.

**KEY WORDS:** *The attached junior high schools to national universities, physical education research project*

---

\*鹿屋体育大学 National Institute of Fitness and Sports in Kanoya, Kagoshima, Japan.

## 1. はじめに

日本における国立大学附属中学校（以下、附属中学校）は、明治における近代学校教育制度の成立以来、100有余年、新学制による中学校発足以降48年を経過した。

実践・研究の結果として膨大な知識の蓄積、活動がおこなわれ、その成果は研究紀要を中心とする資料にみいだすことができる。これら発足以来の、貴重な研究に関し「何が」、「どのように」おこなわれたかの変遷や動向、研究内容を明らかにし今後の展望することは学校体育研究上、意義があると考えられる。

本研究の目的は、国立大学附属中学校保健体育科における研究の調査・分類・分析をおこない、研究の実態を把握するとともに今後の在り方を探ることであった。

## 2. 先行研究の概要

先行研究の調査の結果、日本体育学会における第1回大会から第45回大会までの発表内容において、本研究と同様の国立大学附属中学校保健体育科を対象とした歴史的内容の研究は確認できなかった。また、本研究に関連して既に、以下のような報告、発表をおこなった。

1991年の筑波大学附属中学校研究紀要第43号、日本体育学会第42回大会（富山大学）においては、研究の全体構造と1953～64年の調査結果。

1992年の日本体育学会東京支部第19回大会（早稲田大学）、東京体育学研究1992年度報告においては1965～69年の調査結果並びに郵送調査の結果。

1992年の日本体育学会第43回大会（大妻女子大学）においては1970～79年の調査結果。

1994年の日本体育学会第45回大会（山形大学）においては1980～84年の調査結果。

（1）筑波大学附属中学校教育課程研究所資料室における各附属中学校に関する資料の調査

1991年の報告によると、筑波大学附属中学校教育課程研究所資料室における資料の調査結果は、調査資料総数1113で研究紀要レベルの資料は表一

1のとおり平成元年現在、全附属中学校の37.6%を保管していることが明らかになった。国立大学附属中学校において発行された、研究紀要を中心とする資料の保管状況については、当該学校以外では全国附属学校連盟、教育大学協会等の機関においても、ほとんど資料の保管がないことから、保管状態は良好といえるのではないかと思われた。

また各附属中学校保健体育科における研究の調査結果は表一2のとおりであった。教科研究の出現数は720で年度が進むに従い漸増傾向がみられ、5年毎の集計結果でも漸増傾向がみられた。しかし1970～74年では減少傾向であった。

（2）各附属中学校に対する資料の保管状況に関する郵送調査

1992年の報告によると、1992年1月より実施した各附属中学校78校に対する資料の保管状況に関する郵送調査は、36校からの回答があり回収率46.8%であった。

昭和19年以前の資料については、歴史的には学校創立を戦前とする学校が2校あったが（広島大学附属中学校、筑波大学附属中学校）、大半が昭和22年創立となり戦前の資料の存在は筑波大学附属中学校以外は、認められなかった。（広島大学附属中学校の資料は戦災で消失）。

戦後の資料に関する保管状況の調査結果は、自校の資料を完全に保管していたのは13校（36%）であり、やや少ないのではないかと思われた。

以上、資料の調査、保管状況等全体的側面について述べた。研究内容に関しては4. 結果の項にゆずる。本研究は4年間にわたる継続研究の一つとして位置づけられ、これまでの報告、発表に加筆、修正したものである。

## 3. 研究方法

（1）研究対象

本研究は、筑波大学附属中学校教育課程研究所資料室に収蔵されている国立大学附属中学校78校における、1953～89年に至る37年間に刊行された、研究紀要を中心とする資料を対象としておこなった（表一、表二）。今回は、1953～84年まで

32年間の各附属中学校保健体育科における研究について、調査、分類、分析をおこない、研究傾向や変化の概要について考察をおこなった。

## (2) 研究内容の分類の視点

本研究における研究内容の分類は次の4つの領域を基本とし、詳細は表-3のとおりであった。

### I. 一般的分類

主として、学習、学習指導、授業、授業構造等の保健体育科教育全般の視点から、どのような研究がおこなわれたかを把握する目的で分類をおこなった。

### II. 運動種目別分類

どのような運動種目が研究対象や方法、学習内容として取り扱われたかを把握する目的で、学習指導要領における運動種目をもとに分類をおこなった。中学校学習指導要領における学習内容としての運動種目を基準とした。

### III. 学年別・性別による分類

研究対象・手段となった生徒の、所属学年別、性別により分類をおこなった。

### IV. 研究方法による分類

経験科学の研究方法並びに、記述の重点がどこにあるのかを基準とし分類を試みた。

## (3) 研究内容の分類の方法

分類の方法は、各研究のタイトル、記述内容の分析により分類をおこなった。研究の目的、方法、記述内容から分類項目を明確にできず、複数の項目にわたって分類されると判断された場合は、最大でも2項目への分類にとどめた。

## 4. 結果並びに考察

保健体育科における研究の調査・分類・分析は、32年間、547の研究についておこなった。結果は表-3、表-4のとおりであった。

### (1) 一般的分類

一般的分類の結果は表-4-Iのとおりであった。

#### [全体的傾向]

研究数で最も多かったのは分類項目5の学習指

導に関する総合的研究で、32年間で全体の75%近くを占め、漸増傾向とあわせて附属学校の研究の中心と思われた。

この項目以外は6%以下になり、最低は分類項目7の教師・指導者、制度に関する研究の0%であった。各項目ごとの研究内容・傾向は次のとおりであった。

[分類項目1 中学校保健体育科に関連する諸科学的基礎的研究]

諸科学的基礎的研究における32年間の内訳では、1975~79年の研究数11が最多であった。学校別発表回数は、筑波大学附属駒場中学校と東京学芸大学教育学部附属竹早中学校の6回が最も多く、山形大学教育学部附属中学校、神戸大学発達科学部附属住吉中学校の2回、広島大学教育学部附属中学校、広島大学教育学部附属東雲中学校、大阪教育大学附属池田中学校、香川大学教育学部附属高松中学校、大分大学教育学部附属中学校の1回であった。

内容は筑波大学附属駒場中学校の「P. W. C170の変化からみた中学生の3週間の持久走プログラムの効果について」(1974)「中・高校生の直立能力について」(1976, 1978)、「剣道の打突に対する容積脳波反応についての研究」(1976)、東京学芸大学附属竹早中学校の「側転倒立回転の指導法に関する一考察」(1976, 1977, 1978, 1979)、これに関連する「器械運動における分析的研究について」等であった。傾向としては同一個人・グループによる継続的研究の報告であった。

[分類項目2 保健体育科の目的、目標、学習内容に関する研究]

保健体育科の目的、目標、学習内容に関する研究は、1965~79年の15年間見当たらず、単独の研究対象としては減少傾向にあり、やや低調であった。また学習指導要領を批判・検討した内容の研究はみあたらなかった。国立大学の附属学校という立場であるが、教育の理論や実際だけでなく理念的研究も行われる必要があるのではないか。

#### [分類項目3 学習者に関する研究]

学習者に関しては32年間の研究の多様性はある

表-1 筑波大学附属中学校教育課程研究所保管資料一覧(昭和28年~平成元年)

整理 番号	学 校 名	資 料
1	北海道大学教育学部附属札幌中学校	研究紀要 12
2	北海道大学教育学部附属函館中学校	研究紀要 4 研究集録 17
3	北海道大学教育学部附属旭川中学校	
4	北海道大学教育学部附属釧路中学校	研究紀要 7.8.9.S56.57.58.60.61.62 学習指導の実践的研究 (31)
5	弘前大学教育学部附属中学校	教育紀要 1.2.3.5.7.14.16.23.25.
6	岩手大学教育学部附属中学校	研究紀要 4-1.5-1.5-2.6-1. 研究要録 1.2.3.4.5.6
7	宮城教育大学教育学部附属中学校	研究紀要 1.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.20.21.22.23.24.25.26.27
8	秋田大学教育学部附属中学校	研究紀要 1 研究報告 42.44.45.46.47.51.52.54.
9	山形大学教育学部附属中学校	研究紀要 1.2.3.4.5.6.7.8.10.11.15.18.19.21.22.23.25.26. 教育実践 6.7.8.9.12
10	福島大学教育学部附属中学校	教育研究 20.27.28.34.35.37.38.39.
11	茨城大学教育学部附属中学校	研究紀要 2.S47.48.49.50. No15.16.17..
12	筑波大学附属中学校	研究紀要 1.3.4.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28. 29.30.31.32.33.34.35.36.37.38. 研究集録 2.S58
13	筑波大学附属駒場中学校	研究報告 1.2.3.4.5.6.7.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.24.25.26.27.28.
14	宇都宮大学教育学部附属中学校	研究論集 16.17.18.19.20.21.22.26.27.28.29.31.32.33.34.35.36.37.
15	群馬大学教育学部附属中学校	研究紀要 1.2.3.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.21.22.24.25.26.27.28.29.30.31.32. 33.34.35.
16	埼玉大学教育学部附属中学校	研究紀要 2.3.4.5.6.7.8.9.10.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25. 学習指導の改善 (64)
17	千葉大学教育学部附属中学校	研究紀要 1.2.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20. 研究要覧 1.2.3.4.5.6.7
18	東京大学教育学部附属中学校	東大附属論集 1.2.3.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.19.20.21.22.23.24.26.27.28. 29.30.31.32.
19	東京学芸大学教育学部附属世田谷中学校	研究紀要 s41.44.47.55.57.58. No11.12.13.14.15. 教育研究 S55.58
20	東京学芸大学教育学部附属竹早中学校	研究集録 S34.35. No5.8.9.10.11.12.14.15.16.17.18.19.20.21.22.24.25.26.27.
21	東京学芸大学教育学部附属小金井中学校	研究紀要 1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.16.17.18.19.20.21.22.26.
22	東京学芸大学教育学部附属大泉中学校	研究集録 S35.36.39.40.41.42.43.44.45. No12.3-1.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25. 26.27.28.29.
23	お茶の水女子大学附属中学校	研究紀要 1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18. 研究集録 1.2.
24	横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校	研究紀要 4.5.6.7.10.11.12.13.14.16.17. 研究集録 S42.54
25	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校	研究紀要 10.13.15.16.20.21.22.23.24.26.27.28.
26	新潟大学教育学部附属新潟中学校	研究 23.24.25.26.27.28.29.31.33.34.35.36.37.
27	新潟大学教育学部附属長岡中学校	研究紀要 S40.50.57.59.60.63. H1. 教育論究 7.8.9.10.11.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.25.
28	上越教育大学学校教育学部附属中学校	研究紀要 6.9.10.13.15.16.17.18.19.20.21.22.24.25.26.27.28.30.31.32.33.34.35.37.38. 39.40.41.
29	富山大学教育学部附属中学校	研究紀要 12.16.17.26.27.28.30.32.33.34.35.36.37.38.
30	金沢大学教育学部附属中学校	研究紀要 8.11.12.13.14.15.17.18.20.21.23.25.26.27.28.29.31.32. 研究資料 S60.61.
31	福井大学教育学部附属中学校	研究紀要 2.3.4.18.19.20.
32	山梨大学教育学部附属中学校	研究紀要 S43. No3.4.5.6.7.8.9.10. 中等教育研究会資料 S45.
33	信州大学教育学部附属長野中学校	中学校教育研究会要項 S42.43.44.45.46.47.48.49.50.51.52.53.
34	信州大学教育学部附属松本中学校	
35	岐阜大学教育学部附属中学校	研究報告 10.11.13.15.17.19.21.22. 実践報告 S59.
36	静岡大学教育学部附属静岡中学校	研究紀要 1.3.4. 授業の研究 S47.52.

向山：国立大学附属中学校保健体育科における研究の変遷(その3)

整理 番号	学 校 名	資 料
37	静岡大学教育学部附属浜松中学校	教科の系統的指導への歩み S35.36.
38	静岡大学教育学部附属島田中学校	
39	名古屋大学教育学部附属中学校	研究紀要 2.3.4.5.6.7.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28. 29.30.31.32.33.34.
40	愛知教育大学教育学部附属名古屋中学校	研究紀要 2.3.4.5.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.19.22.29.30.32.33.34.
41	愛知教育大学教育学部附属岡崎中学校	S50.52.54.55.57.60.61.62.
42	三重大学教育学部附属中学校	研究紀要 S35.39.No2.3.6.9.10.11.12.13. 附中論集 S45.No3
43	滋賀大学教育学部附属中学校	研究紀要 2.18.19.20.21.22.23.24.25.27.30.32
44	京都教育大学教育学部附属京都中学校	研究集録 1.2.4. 授業研究 2.3.4.5.16.
45	京都教育大学教育学部附属桃山中学校	研究論集 S43.46.47.50.51.52.53.54.55.56.57.58.59.61.62.63. 研究報告 S40.
46	大阪教育大学教育学部附属天王寺中学校	研究集録 2.3.4.5.6.7.8.9.10.12.13.16.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.
47	大阪教育大学教育学部附属平野中学校	研究紀要 S41.42.43.45.50.53.54.55.57.58.59.62.63. 研究集録 S35.42.
48	大阪教育大学教育学部附属池田中学校	研究紀要 S36.39.40.42.43.44.45.47.49.52.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63. 研究叢書 6.
49	兵庫教育大学学校教育学部附属中学校	研究紀要 1.2
50	神戸大学発達科学部附属住吉中学校	研究紀要 14.15.16.17.18.19.20.21.25.26.29.30.31.33.34.35.36.37.
51	神戸大学発達科学部附属明石中学校	研究紀要 17.18.19.22.23.25.26.27.28.29.
52	奈良教育大学教育学部附属中学校	研究集録 3.8.9.10.11.12.13.15.16.17.18.19.
53	奈良女子大学文学部附属中学校	研究紀要 3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.15.16.18.19.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.
54	和歌山大学教育学部附属中学校	いとなみ 12.29.30.31.
55	鳥取大学教育学部附属中学校	研究報告 13.15.17.18.21.
56	鳥根大学教育学部附属中学校	研究紀要 4.5.7.8.9.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31. 教育研究 3.
57	岡山大学教育学部附属中学校	研究紀要 1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.
58	広島大学附属中学校	教育研究 5.6.7.8.14.15.20.22.23.24.26.27.28.29.31.32.33.34.35.
59	広島大学附属東雲中学校	研究紀要 11.12.13.15.16.19.21.22.24.25.26. 中学教育 4.10.
60	広島大学附属三原中学校	研究紀要 6.7.9.12.14.15.17.18.19.20.21.22.23.25.26.
61	広島大学附属福山中学校	研究紀要 1.2.3.4.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.24.25.26.28.29
62	山口大学教育学部附属山口中学校	研究紀要 16.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.
63	山口大学教育学部附属光中学校	研究紀要 18.19.21.22.23.24.25.26.27.28.
64	鳴門教育大学学校教育学部附属中学校	研究紀要 10.11.14.15.16.18.20.24.25.26.27.28.30.31.32.33.34.35.36. 研究集録 S42.
65	香川大学教育学部附属高松中学校	研究報告 1-1.1-2.1-6.1-7.1-8.
66	香川大学教育学部附属坂出中学校	研究紀要 S45.53.59. 研究報告 S50.53.54.55.56.57.62.
67	愛媛大学教育学部附属中学校	研究紀要 19.20.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.34.35.36.37.38.39.40.41.42.
68	高知大学教育学部附属中学校	叢書 14.15.18.19.23.24.
69	福岡教育大学教育学部附属福岡中学校	研究紀要 1.4.5.6.8.S49.50.52.58.61.
70	福岡教育大学教育学部附属小倉中学校	研究紀要 S52.55.
71	福岡教育大学教育学部附属久留米中学校	研究紀要 S60.
72	佐賀大学教育学部附属中学校	研究紀要 2.3.4.5.6.7.8.9.11.12.13.15.16.
73	長崎大学教育学部附属中学校	研究紀要 S55.56.57.58.59.60.61.62. 研究集録 7.8.9.10.11.12.
74	熊本大学教育学部附属中学校	研究紀要 1.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.
75	大分大学教育学部附属中学校	研究紀要 10.23.24.25.29.31.32.33.34.35.36.37.
76	宮崎大学教育学部附属中学校	研究紀要 S40.41.43.46.51.56.57.
77	鹿児島大学教育学部附属中学校	研究紀要 1.2.3.4.8.11.
78	琉球大学教育学部附属中学校	



ものの、教育現場における学習者そのものを研究対象とする研究への、関心が稀薄なのではないかと思われた。

しかし1980～84年において項目(9)の不応、(10)の生徒の授業への好意度などの新しい内容が出現した。項目(10)は小林の考案による授業診断のための態度測定尺度を中心とした内容であった。小林の態度測定尺度はこの項目における研究数の5を含め、全部で8の研究において利用されているのが特徴的であった。

#### [分類項目4 体育の指導計画に関する研究]

体育の指導計画に関する研究は、全体では2番目の研究数であった。1970～79年において、千葉大学附属中学校など9校で出現した。内容は1977年の学習指導要領の改訂に伴う、教育課程の再編成に関連したもので各附属中学校の現状報告的なものであった。

#### [分類項目5 学習指導に関する総合的研究]

学習指導に関する総合的研究に関する32年間の合計では、(2)運動の構造的特性を重視した学習指導の92(20.5%)が最も多く、(12)学習態度の90(20.1%)、(13)学習の個別化・個性化の51(11.4%)、(3)運動の機能的特性を重視した学習指導の50(11.2%)、(8)体格・体力・運動能力・発育・発達が48(10.7%)等であった。

1960～64年の(4)学習形態の項目の増加が特徴的であった(研究数12)。なかでもグループ学習に関する研究が多く(研究数12中9)、特に愛知教育大学教育学部附属中学校で多くみられた(研究数9中6)。

1965～69年に(15)指導方法の項目において全習法と分習法の指導方法の効率に関する比較研究が増加する傾向がみられた(研究数7中7)。なかでも群馬大学教育学部附属中学校の継続研究(1965,1966,1967)が特徴的であった。

1980～84年に(13)学習の個別化・個性化の内容27のうち選択制授業としてのコース別学習に関するものが11あり特徴的であった。

項目ごとの比較では、1970～74年をさかいに(2)運動の構造的特性を重視した学習指導の項目や、(4)学習形態、(8)体格・体力・運動能

力・発育・発達に関連する分類項目が減少傾向を示した。

これと対照的に、1970年以降に(3)運動の機能的特性を重視した学習指導や、(12)学習態度、(13)の学習の個別化・個性化の分類項目など、題目に意欲的、自主性、主体的、一人一人、個を生かしたなどの語句を含む研究の増加傾向がみられた。

これら(3)運動の機能的特性を重視した学習指導、(12)学習態度、(13)学習の個別化・個性化の分類項目を合計すると、全体では42.7%を占め、(2)運動の構造的特性を重視した学習指導の分類項目の20.5%を上回る。このことから、1970～74年をさかいに、教師側の問題意識や研究の重点が、運動種目の技術指導中心の指導過程重視から、生徒を主体とする、楽しさや、欲求充足中心の学習過程重視へ移行しつつあった。

今回は5年ごとの集計と分類であったが、この結果は1977(昭和52)年の学習指導要領の改訂に向けての研究傾向であると考えられた。

#### [分類項目6 評価に関する研究]

評価に関する研究は、1970～79年の東京大学教育学部附属中学校の10年間にわたる継続研究(1970,1971,1972,1979)が特徴的であった。この研究では評価項目、評価方法、都内100の中学校に対する実態調査などがおこなわれた。

#### [分類項目7 教師・指導者、制度に関する研究]

教師・指導者、制度に関する研究は、32年間出現せず特徴的であった。教師・指導者、制度に関する研究は、現場的研究対象ではないのかと考える一方で、教師、制度に関する研究の必要性も感じた。

#### [分類項目8 保健分野に関する研究]

保健分野に関する研究は体育の学習指導に比較して低調な傾向であった。

#### (2) 運動種目別分類

運動種目別分類の結果は表-4-IIのとおりであった。

#### [全体的傾向]

最も多かったのは球技の25.6%であった。つづ

表-3 研究内容による分類

## I. 一般的分類

1. 中学校保健体育科に関連する諸科学的基礎的研究
  - (1) 歴史的
  - (2) 哲学的
  - (3) 生理学的
  - (4) 心理学的
  - (5) 社会学的
  - (6) 運動学的 (技術分析, ゲーム分析)
2. 保健体育科の目的, 目標, 学習内容に関する研究
  - (1) 歴史的変遷
  - (2) 指導要領に関連した内容
  - (3) 内容の取扱いに関して
3. 学習者に関する研究
  - (1) 個人差 能力差 (2) 運動ざらい, つまづき (意欲欠如者)
  - (3) 劣等感 (4) 初心者 (5) 男女差 (6) 肥満児
  - (7) 月経 (8) 障害児 (9) 不適応 遅滞児 (10) 学習者の意識
4. 体育の指導計画に関する研究
  - (1) カリキュラム
  - (2) 年間計画
  - (3) 単元計画
5. 学習指導に関する総合的研究
  - (1) 運動の効果的特性重視の学習指導 (体力づくり中心の学習過程)
  - (2) 運動の構造的的特性重視の学習指導 (運動種目・技術指導中心の学習過程)
  - (3) 運動の機能的特性重視の学習指導 (生徒主体, 楽しさ欲求充足中心の学習過程)
  - (4) 学習形態 (問題解決学習, 系統学習, 一斉学習, 班別学習, 個別学習, グループ学習)
  - (5) 学習環境 (施設, 設備, 教育機器, 用具, 学習資料, 指導上の工夫, 補強運動)
  - (6) 学習集団 (リーダーシップ, モラル, チームワーク, 編成の方法)
  - (7) 学習指導上の諸問題 (示範, 発問, 助言, 指示, 指導案, 指導の問題点, つまづき)
  - (8) 体格・体力・運動能力, 発育・発達 (スポーツテスト)
  - (9) 中・高一貫教育・指導
  - (10) 授業研究, 授業分析 (仮説, 検証, 観察, 記録, 量的データ, 質的データ)
  - (11) 教育心理に関する事項 (思考, 学力, 動機づけ,)
  - (12) 学習態度 (意欲, やる気, 自主性, 自発性, 主体性, 創造性)
  - (13) 学習の個別化・個性化 (ひとり・ひとり, 個, 能力別編成, 選択制)
  - (14) 研究の動向
  - (15) 指導方法 (全習法, 分習法)
6. 評価に関する研究
  - (1) 学習評価 (技能, 知識, 態度, 評価基準, 到達度評価, 達成目標, 到達目標, 自己評価, 相互評価)
  - (2) 教育条件 (学校評価)
  - (3) 指導要録
7. 教師・指導者, 制度に関する研究
  - (1) 教師・指導者
  - (2) 制度
8. 保健分野に関する研究
  - (1) 保健の授業・学習指導
  - (2) 性教育
  - (3) 研究の動向
  - (4) 調査 (保健・健康に関する意識など)



9. その他

- (1) クラブ(選手指導)      (2) 行事      (3) 安全教育      (4) 社会教育  
(5) 情報提供

II. 運動種目による分類

- |          |       |                                         |       |          |
|----------|-------|-----------------------------------------|-------|----------|
| 1. 体操    | 1. 0  | 体操全般                                    |       |          |
| 2. 器械運動  | 2. 0  | 器械運動全般                                  | 2. 1  | マット運動    |
|          | 2. 3  | 平均台運動                                   | 2. 4  | 跳び箱運動    |
| 3. 陸上競技  | 3. 0  | 陸上競技全般                                  | 3. 1  | 短距離・リレー  |
|          | 3. 3  | 障害走                                     | 3. 4  | 走り幅跳び    |
|          | 3. 6  | 砲丸・ボール投げ                                | 3. 2  | 中・長距離    |
|          |       |                                         | 3. 5  | 走り高跳び    |
| 4. 水泳    | 4. 0  | 水泳全般                                    | 4. 1  | クロール     |
|          | 4. 3  | 背泳ぎ                                     | 4. 2  | 平泳ぎ      |
| 5. 球技    | 5. 0  | 球技全般                                    | 5. 1  | バスケットボール |
|          | 5. 3  | サッカー                                    | 5. 2  | ハンドボール   |
|          | 5. 6  | 卓球                                      | 5. 4  | バレーボール   |
|          |       |                                         | 5. 5  | テニス      |
|          |       |                                         | 5. 7  | バドミントン   |
| 6. 武道    | 6. 0  | 武道全般                                    | 5. 8  | ソフトボール   |
|          | 6. 3  | 相撲                                      | 6. 1  | 柔道       |
|          |       |                                         | 6. 2  | 剣道       |
| 7. ダンス   | 7. 0  | ダンス全般                                   | 7. 1  | 創作ダンス    |
|          |       |                                         | 7. 2  | フォークダンス  |
| 8. 多種目   | 8. 0  | (指導計画一般, 評価関係, 選択制, 調査)                 |       |          |
| 9. 種目不詳  | 9. 0  | (スポーツテスト・体力・運動能力関係, 発育・発達, 保健, 行事, その他) |       |          |
| 10. 冬季競技 | 10. 0 | 冬季競技全般                                  | 10. 1 | スキー      |
|          |       |                                         | 10. 2 | スケート     |

III 学年別・性別による分類

- |                  |                     |             |      |   |      |   |
|------------------|---------------------|-------------|------|---|------|---|
| 1. 1年            | 1. 0                | 男女          | 1. 1 | 男 | 1. 2 | 女 |
| 2. 2年            | 2. 0                | 男女          | 2. 1 | 男 | 2. 2 | 女 |
| 3. 3年            | 3. 0                | 男女          | 3. 1 | 男 | 3. 2 | 女 |
| 4. 全学年           | (指導計画一般, 評価関係, 理論的) |             |      |   |      |   |
|                  | 4. 0                | 男女          | 4. 1 | 男 | 4. 2 | 女 |
| 5. 他校, 他の学校種別を含む |                     |             |      |   |      |   |
|                  | 5. 0                | 男女          | 5. 1 | 男 | 5. 2 | 女 |
| 6. 学年不詳          | 6. 0                | (特に記述・記載なし) |      |   |      |   |

IV 研究・記述方法による分類 (研究方法や記述の重点による実践的・実際の基準による分類)

1. 理論的研究 (哲学的)      (教育の価値論, 論理学, 教育言語の意味論)
2. 歴史的研究      (過去の事実の吟味・記録・分析・解釈)
3. 記述・分析的研究      (狭義の実証的研究, 事実, 現状の記述・記録・分析・解釈)
  - (1) 実践・報告的      (授業実践の報告中心, 実証授業的, 理論-事実-分析)
  - (2) 理論・総括的      (実践経験の総括や理論化, 提言, 計画等)
  - (3) 測定・統計的      (スポーツテスト, 運動生理等に関する資料の収集, 整理, 分析, 数量データ)
  - (4) 調査・分析的      (質問紙調査, 実態把握)
  - (5) 観察・記録的      (行動観察, ゲーム分析)
4. 実験的研究      (条件統制, 仮説-実験-検証)
  - (1) 技術分析的      (個別の運動技術に関する実験, 条件統制)
  - (2) 実験的      (条件統制を加えた比較研究, 統制群法~二群, 実験授業的, 比較実験的, 教授学的実験的)

表一 4 研究内容による分類結果

I. 一般的分類

分類項目	1953 ~1954	1955 ~1959	1960 ~1964	1965 ~1969	1970 ~1974	1975 ~1979	1980 ~1984	合計
1. 中学校保健体育科に関連する諸科学的基礎的研究 (1) 歴史的 (2) 哲学的 (3) 生理学的 (4) 心理学的 (5) 社会学的 (6) 運動学的			2 1	3 3	1	3 8	2 1	0 0 6 0 2 13
			3.9%	3.2%	1%	8.5%	1.8%	3.5%
2. 保健体育科の目的、目標、学習内容に関する研究 (1) 歴史的変遷 (2) 指導要領に関連した内容 (3) 内容の取扱いに関して		1 1	2				1	0 3 2 5
		6.7%	2.6%	0%	0%	0%	0.6%	0.8%
3. 学習者に関する研究 (1) 個人差 能力差 (2) 運動ぎらい (3) 劣等感 (4) 初心者 (5) 男女差 (6) 肥満児 (7) 月経 (8) 障害児 (9) 不適応 遅滞児 (10) 意識 (授業の好意度)			1	1 1	1 1	3 1		6 5 1 1 3 1 2 3 1 5 5
		6	5	5	2	4	10	32
		20%	6.6%	5.3%	2%	3.1%	5.9%	5.3%
4. 体育の指導計画に関する研究 (1) カリキュラム (2) 年間計画 (3) 単元計画			1 3	3 4	2	5 1	6 1	17 9 6
			4	7	4	8	9	32
			5.3%	7.4%	4%	6.2%	5.3%	5.3%
5. 学習指導に関する総合的研究 (1) 運動の効果的特性重視の学習指導 (2) 運動の構造的・特性重視の学習指導 (3) 運動の機能的・特性重視の学習指導 (4) 学習形態 (5) 学習環境 (6) 学習集団 (7) 学習指導上の諸問題 (8) 体格・体力・運動能力・発育・発達 (9) 中・高一貫教育・指導 (10) 授業研究・授業分析 (11) 教育心理に関する事項 (12) 学習態度 (13) 学習の個別化・個性化 (14) 研究の動向 (15) 指導方法	1	6	17	2 31	2 15	13 9	9 29	4 92 50 28 19 16 13 13 48 9 7 90 51 2 10
	1	19	50	67	80	93	138	448
	50%	63.3%	65.9%	71.3%	79.2%	71.5%	81.7%	74.4%
6. 評価に関する研究 (1) 学習評価 (2) 教育条件 (3) 指導要録		1 1 1	6	5	6	8	1	27 1 1
		3	6	5	6	8	1	29
		10%	7.9%	5.3%	5.9%	6.2%	0.6%	4.8%
7. 教師・指導者、制度に関する研究 (1) 教師・指導者 (2) 制度								0 0
		0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8. 保健分野に関する研究 (1) 保健の授業・学習指導 (2) 性教育 (3) 研究の動向 (4) 調査			3	2	3 1	3	1 2	12 3 1 6
	1			2	2	1	1	6
	1		3	4	6	4	4	22
	50%		3.9%	4.3%	5.9%	3.0%	2.4%	3.6%
9. その他 (1) クラブ (選手指導) (2) 行事 (3) 安全教育 (4) 社会体育 (5) 情報提供			1 1 1	2 1	2	1	2	5 5 1 1 1
			3	3	2	2	3	13
			3.9%	3.2%	2%	1.5%	1.8%	2.2%
合計	2	30	76	94	101	130	169	602

向山：国立大学附属中学校保健体育科における研究の変遷（その3）

II. 運動種目による分類

分類	項目	1953 ～1954	1955 ～1959	1960 ～1964	1965 ～1969	1970 ～1974	1975 ～1979	1980 ～1984	合計
1. 体操	1. 0 体操全般		1	2		5	4	5	17
			3.6%	2.7%	0%	5.4%	3.1%	2.6%	2.8%
2. 器械運動	2. 0 器械運動全般			2	5		1	3	11
	2. 1 マット運動			2	3		6	10	21
	2. 2 鉄棒運動		2	1	4	3	4	1	15
	2. 3 平均台運動					1		1	2
	2. 4 跳び箱運動		1	1	3	7	5	4	21
			3	6	15	11	16	19	70
		10.8%	8%	15.3%	11.8%	12.2%	10.1%	11.4%	
3. 陸上競技	3. 0 陸上競技全般		2	4	6	2	2	3	19
	3. 1 短距離・リレー			1	1	2	7	9	20
	3. 2 中・長距離				1	5	4	7	17
	3. 3 障害走				3	5	6	12	26
	3. 4 走り幅跳び			1	2	1	3	1	8
	3. 5 走り高跳び			2		3	5	2	12
	3. 6 砲丸・ボール投げ						2		2
			2	8	13	18	29	34	104
		7.1%	10.7%	13.3%	19.4%	22.1%	18.0%	16.9%	
4. 水泳	4. 0 水泳全般		2	1	4			5	12
	4. 1 クロール						1		1
	4. 2 平泳ぎ						1		1
	4. 3 背泳ぎ								0
			2	1	4	0	2	5	14
		7.1%	1.3%	4%	0%	1.5%	2.6%	2.3%	
5. 球技	5. 0 球技全般								0
	5. 1 バスケットボール		4	5	10	7	15	29	70
	5. 2 ハンドボール						1	2	3
	5. 3 サッカー		1	2	2	5	4	8	22
	5. 4 バレーボール		4	9	10	7	15	17	62
	5. 5 テニス					1			1
	5. 6 卓球								0
	5. 7 バドミントン								0
	5. 8 ソフトボール								0
			9	16	22	20	35	56	158
		32.1%	21.3%	22.4%	21.5%	26.7%	29.6%	25.6%	
6. 武道	6. 0 武道全般						2	2	4
	6. 1 柔道				2	1	3	1	7
	6. 2 剣道							1	1
	6. 3 相撲								
				2	1	5	4	12	
				2%	1%	3.8%	2.1%	1.9%	
7. ダンス	7. 0 ダンス全般		1					1	2
	7. 1 創作ダンス			9	11	14	10	17	61
	7. 2 フォークダンス			1					1
		1	10	11	14	10	18	64	
		3.6%	13.3%	11.3%	15.1%	7.6%	9.5%	10.4%	
8. 多項目	8. 0	1	4	9	11	9	8	26	68
		50%	14.3%	12%	11.3%	9.7%	6.1%	13.8%	11.0%
9. 種目不詳	9. 0	1	6	23	19	15	22	21	107
		1	6	23	19	15	22	21	107
		50%	21.4%	30.7%	19.4%	16.1%	16.8%	11.1%	17.4%
10. 冬季競技	10. 0 冬季競技全般								0
	10. 1 スキー				1				1
	10. 2 スケート								0
				1	0	0	0	1	
				1%	0%	0%	0%	0.2%	
11. 野外活動	11. 0 全般							1	1
								1	1
							0.5%	0.2%	
合計		2	28	75	98	93	131	189	616

向山：国立大学附属中学校保健体育科における研究の変遷（その3）

Ⅲ 学年別・性別による分類

分類項目		1953 ～1954	1955 ～1959	1960 ～1964	1965 ～1969	1970 ～1974	1975 ～1979	1980 ～1984	合計
1. 1年	1. 0 男女		1	5	4	5	6	10	31
	1. 1 男		2	5	8	6	14	29	64
	1. 2 女			5	8	10	13	14	50
			3	15	20	21	33	53	145
			10.7%	19%	20.6%	22.1%	23.1%	27.7%	22.8%
2. 2年	2. 0 男女		1	3	4	8	4	7	27
	2. 1 男		3	4	9	8	23	22	69
	2. 2 女		3	4	3	4	7	22	43
			7	11	16	20	34	51	139
			25%	13.9%	16.5%	21.1%	23.8%	26.7%	21.9%
3. 3年	3. 0 男女			2	4	6	4	10	26
	3. 1 男		3	4	5	12	18	16	58
	3. 2 女		1	5	3	4	11	8	32
			4	11	12	22	33	34	116
			14.3%	13.9%	12.4%	23.1%	23.1%	17.8%	18.3%
4. 全学年	4. 0 男女	2	8	32	29	18	20	30	139
	4. 1 男			2	4	3	1	4	14
	4. 2 女		2	4	5	2	4	7	24
		2	10	38	38	23	25	41	177
		100%	35.8%	48.2%	39.3%	24.3%	17.5%	21.5%	27.8%
5. 他校、他の 学校種別	5. 0 男女		2	1	5	4	4	8	24
	5. 1 男			1	2		1		4
	5. 2 女				1				1
			2	2	8	4	5	8	29
			7.1%	2.5%	8.2%	4.2%	3.5%	4.2%	4.6%
6. 学年不詳	6. 0		2	2	3	5	13	4	29
			2	2	3	5	13	4	29
			7.1%	2.5%	3%	5.2%	9%	2.1%	4.6%
合計		2	28	79	97	95	143	191	635

Ⅳ 研究・記述方法による分類

分類項目		1953 ～1954	1955 ～1959	1960 ～1964	1965 ～1969	1970 ～1974	1975 ～1979	1980 ～1984	合計
1. 理論的研究									0
		0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2. 歴史的研究									0
		0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3. 記述・分析的研究	(1) 実践・報告的		5	14	32	40	59	89	239
	(2) 理論・総括的	2	9	19	22	21	31	30	134
	(3) 測定・統計的		2	10	6	5	6	9	38
	(4) 調査・分析的		6	20	18	21	24	25	114
	(5) 観察・記録的		1	5	3	4	11	14	38
			2	23	68	81	91	131	167
		100%	85.2%	91.9%	87%	89.2%	93.6%	95.4%	91.8%
4. 実験的研究	(1) 技術分析的		2	1	4	0	1	1	9
	(2) 実験的		2	5	8	11	8	7	41
			4	6	12	11	9	8	50
			14.8%	8.1%	13%	10.8%	6.4%	4.6%	8.2%
合計		2	27	74	93	102	140	175	613

いて、陸上競技16.9%、器械運動11.4%、ダンス10.4%で、それぞれ10%以上を占めていた。単一種目では、バスケットボールが全種目中11.3%、創作ダンス10.4%、バレーボール10.1%、の多さが特徴的であった。

研究数の少なかったのは、武道1.9%、水泳2.3%、体操2.8%、冬季競技0.2%、野外活動0.2%であった。

#### [分類項目2 器械運動]

器械運動では跳び箱運動とマット運動が同数、鉄棒運動の順に多く出現した。研究傾向や内容の分析から跳び箱運動の多い原因として、他の種目に比較し主体性や能力に応じた課題や目標、達成感や成就感などを与えやすい学習内容であること。また学習効果が明確にしやすい運動種目なのではないかと思われた。この点から研究対象としても扱い易かったとも考えられた。

1970～74年に、信州大学教育学部附属中学校で平均台運動に関する研究が出現した。

#### [分類項目3 陸上競技]

陸上競技においては1970～74年にかけて増加傾向を示し、全体でも球技に次いで多く取り扱われていた。単独種目としては、障害走が32年間で陸上競技中の25.0% (26) を占めていたが、研究対象、手段として多く出現した背景には、跳び箱と同様の理由が考えられるのではないかと思われた。

走り幅跳びは、砲丸・ボール投げは少なかったが指導方法の工夫、研究対象としての扱いの難しさがあるのではないかと思われた。

#### [分類項目4 水泳]

水泳の内容は、1975～79年において広島大学附属福山中学校において、クロール、平泳ぎの個別的な泳法に関する研究が出現した。しかし、学習内容の構成という理論的側面からの研究であった。水泳については時期や指導期間の側面から研究の難しさがあると思われた。

#### [分類項目5 球技]

バレーボール、バスケットボールは球技だけでなく、運動種目全体においても研究対象・手段として数多く取り扱われていた。

1970～74年に新潟大学教育学部附属長岡中学校学

においてテニスが初めて出現したが、内容は課外クラブの指導に関するものであった。卓球、バドミントン、ソフトボールに関連する研究はまだ出現していない。

#### [分類項目6 武道]

武道においては、1975～79年に柔道が新潟大学教育学部附属新潟中学校と福岡教育大学附属福岡中学校で出現した。1980～84年に相撲が群馬大学教育学部附属中学校で出現した。

#### [分類項目7 ダンス]

ダンスは創作ダンス中心の傾向であり32年間の継続的に研究されている種目であった。創作ダンスは単独種目としては球技のバレーボールに次ぐ研究数の多さで、全種目中第2位の割合を占めていた。

#### [分類項目9 種目不詳]

種目不詳の内容が17.4%を占めていたが、これはスポーツテスト等も含めた結果と考えられた。

### (3) 学年別・性別による分類

学年別・性別による分類の結果は表-4-Ⅲのとおりであった。学年別では全学年を対象とした内容が27.9%で最も多く、つづいて1年生22.8%、2年生22.8%、3年生18.3%であった。全学年対象の減少傾向と1、2年生対象の増加傾向がみられた。一方、男女別では1、2、3年生とも男子対象の研究、女子、男女一緒の順であった。また1、2年生の男子を対象とした研究が増加傾向にあった。

全体的、包括的傾向からの変化が伺えた。

### (4) 研究方法による分類

研究方法による分類の結果は表-4-Ⅳのとおりであった。記述・分析的研究方法によるものが90%以上を占め、次いで実験的な研究方法であった。理論的、歴史的研究はみあたらなかった。

記述・分析的研究方法のなかでは、実践・報告的、理論的・総括的、調査・分析的研究の研究数が接近していた。

## 5. まとめ

本研究における1953～84年の32年間の研究内容の調査・分類・分析の結果、考察から次のようにまとめをおこなった。

研究の内容、種目は年代を経るに従い多様化、量的拡大が認められる傾向にあった。これは保健体育を取り巻く社会背景、教育環境の変化、とくに学習指導要領の改訂にともなう指導理念の影響が大きく反映されたものと考えられる。特に、1970～74年において一般的分類における教師主導の運動の構造的特性を重視した研究、体力・運動能力に関する内容中心から、生徒を主体とする機能的特性や学習過程を重視した方向への変化が目だった。しかし、研究の手順の都合から5年ごとの分類をおこなったため、学習指導要領の改訂と研究傾向変化の関連性に関しては、次の機会に検討したい。一般的分類においては研究内容や継続性の側面から、学校ごとの研究傾向や特徴も伺われた。

運動種目別分類においては球技の割合が高く、単一種目ではバスケットボール、創作ダンス、バレーボールの多いのが特徴的であった。運動種目により研究対象や指導内容として、取り扱いに格差があったと考える。32年間出現しない種目もあった。

学年別・性別の対象に関しては分化傾向がみられ、全体的、包括的傾向からの変化が伺えたが、研究の目的と対象学年との関連性は薄いと考えられる。しかし、今後は学習内容と学年、性別などの関連性の視点からの研究も要求されると考える。

研究方法は記述・分析的研究方法が90%近くを占める傾向にあった。教育現場における研究方法としては予想された結果と考えるが、教育研究的には附属学校という環境から大学における学部と連携し共同研究を促進する必要性もあると思われた。

## 6. 今後の課題

本研究の結果、今後の課題として次のような課題が提示されたと考える。

・筑波大学附属中学校教育課程研究所資料室にお

ける、欠落部分の資料収集。

・学習指導要領の改訂と研究傾向の変容との関連性。  
等であった。

## 参考文献

- 1) 井上一男, 学校体育制度史, 大修館, 1976. Pp. 582.
- 2) 宇土正彦, 体育科教育法入門, 大修館, 1983. Pp. 344.
- 3) 海後宗臣・吉田 昇・村井 実編, 教育学全集 1 教育学の理論, 小学館, 1975. Pp. 370.
- 4) 岸野雄三, 現代保健体育学体系 2 体育史, 大修館, 1973. Pp. 310.
- 5) 竹之下休蔵・岸野雄三共著, 近代日本学校体育史, 日本図書センター, 1983. Pp. 359.
- 6) THOMAS, J.R. and NELSON, J.K., Introduction to Reserach in Health. Physical Education, Recreation, and Dance, Human Kinetics Publishers: Illinois, 1985. Pp. 412.
- 7) 筑波大学附属中学校・高等学校百年史編集委員会編, 筑波大学附属中学校・高等学校創立百年史, 第一法規, 1988. Pp. 405.
- 8) 成田十次郎・前田幹夫編著, 体育科教育学, ミネルヴァ書房, 1987. Pp. 255.
- 9) 日本体育学会編著, 体育学研究法, 杏林書院, 1957. Pp. 468.
- 10) 前川峯雄・猪飼道夫・笠井恵雄・菅原 礼・藤田厚・宮下充正編著, 現代体育学研究法, 大修館, 1972. Pp. 653.
- 11) 松田岩男・宇土正彦編, 学校体育用語辞典, 大修館, 1988. Pp. 396.
- 12) 文部省, 中学校指導書 保健体育科編, 大日本図書, 1990. Pp. 126.